

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M212W402	在宅看護実習 (Clinical Practice of Home Care Nursing)	専門教育科目 統合分野

必修選択	単位	対象年次	学期	担当教員
必修	1	4	前期	小野光美・三重野英子・阿部世史美 内線：5071 E-mail: mitsumi@

【授業の概要・到達目標】

在宅看護論をはじめ全ての看護学領域および関連諸科学の講義・演習で学んだ知識を基盤として、在宅療養者が望む自宅等において、健康の維持・回復、安らかな死を支え、その人らしい生活が続けられるよう個別的看護を展開するための基礎的能力を養う。

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. 在宅療養者(家族を含む)を中心とした在宅ケアシステムの全体像を説明する。	○		○				
2. 在宅療養者(家族を含む)に対する訪問看護活動のプロセスを述べる。	○		○				
3. 自己の看護観を洞察し、在宅看護の本質を述べる。							○

【授業の内容】

・実習場所は、6つの訪問看護ステーションである。

実習前週の金曜	・事前学修課題について説明を受ける。 ・土、日曜に、事前学修課題について自己学習を行う。
月曜	午前 ・学内オリエンテーション、自己学習の成果を持ち寄ったグループ演習。
	午後 ・実習ステーションでのオリエンテーション、学生からの学修計画の報告。
火曜～金曜	・訪問看護師の指導のもと訪問に同行し、看護の実際を学ぶ。 ・水曜：中間カンファレンス。前半の学びを整理し、後半の学修視点を明確にする。 ・金曜：最終カンファレンス。学修成果を報告し、学びを深める。
翌週月曜	・レポートおよび実習記録を提出する。

【アクティブラーニング（D：知識の活用・創造）において学生がより深く学ぶための工夫】

- ・実習参加は、事前学修課題に対する自己学習を前提とする。
- ・実習初日の午前、自己学習の成果をもとに、グループ演習により知識を整理し、学修視点を明確化する。
- ・中間カンファレンス、最終カンファレンスで、訪問看護の効果、意義、課題等を討議し、視野を広げる。

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	・6つの訪問看護ステーションの特徴を理解する。 ・事前学修課題に取り組み、知識の復習、学修計画を明確にする(2h)。
事後学修	・毎日、訪問事例の看護の実際や疑問・気づき等を実習記録として記述する(1h/日)。 ・実習終了後、レポートを作成する(3h)。

【教科書】 在宅看護論をはじめ全看護学領域の授業科目で扱った教科書や参考書

【参考書】 実習中、適宜紹介する。

【成績評価方法及び評価の割合】

・実習目標の到達度、実習態度・意欲について総合的に評価する。

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3
実習目標の到達度	70%	○	○	○
実習意欲・態度の評価	30%	○	○	○

【注意事項】 補習実習は原則として行わない。

【備考】 大学の感染対策方針に基づき、実習内容を変更する場合がある。
実習1週間前から実習期間中、健康管理に十分に留意する。

担当教員の実務経験の有無	○	
教員の実務経験	小野 光美 (看護師、保健師)、三重野 英子 (看護師)、阿部世史美 (看護師、保健師)	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	○	
教員以外での指導に関わる実務経験者	訪問看護師	
実務経験をいかした教育内容	訪問看護師との同行訪問を通し、クライアントとその家族が望む生き方を支えるための看護実践を学ぶ。	
授業形態	面接授業	